

群馬県衛生環境研究所・食品安全検査センター

令和7年度 業績発表会プログラム

開会 13:30

開会のあいさつ 衛生環境研究所長 猿木信裕

＜衛生環境研究所（感染症・保健）＞ 13:35～14:05

座長：衛生環境研究所 主席研究員（感染制御係長） 吉住正和

1. 令和7年度感染症流行予測調査の結果について

感染制御係 須永蒔

感染症流行予測調査は、国が主体となり毎年実施している事業である。群馬県では、ヒトの麻しん、風しん、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、ブタの日本脳炎について調査を行ったので、その結果について報告する。

2. ノロウイルスに対するイムノクロマト法の検出性能評価

研究企画係 佐藤ゆり恵

ノロウイルスの迅速簡易検査法として、イムノクロマト法を用いたキットが臨床現場では使用されている。過去7年間に群馬県で流行したノロウイルスについて、定量PCR法の結果を元にイムノクロマト法の検出性能を確認したので報告する。

＜衛生環境研究所（環境）＞ 14:05～14:35

座長：衛生環境研究所 主席研究員（水環境係長） 太田正徳

3. 尾瀬沼のコカナダモ生育状況観察結果と環境条件との関係性の検討について

水環境係 井野修平

群馬県内では国立公園に指定されている尾瀬沼の環境保全を目的とした調査を長期的に実施している。本発表では、特に生態系への影響が懸念される外来水草「コカナダモ」の分布と繁殖状況について報告する。

4. 群馬県における光化学オキシダントとその原因物質であるVOCに関する研究

大気環境係 小池有理子

群馬県では春から夏にかけて光化学オキシダント（Ox）が高濃度化しやすく、毎年、光化学オキシダント注意報が発令され問題となっている。Ox対策に資することを目的に、Ox濃度の経年変化および高濃度発生状況を解析した。さらに原因物質である揮発性有機化合物（VOC）の日内変動を調査した。

<食品安全検査センター> 14:35~14:50

座長：食品安全検査センター 主任研究員（食品微生物検査係長） 茂木芳美

5. 県内のコンビニエンスストアに流通するRTE食品における *Listeria monocytogenes* 汚染実態調査
食品微生物検査係 来栖広夢

リステリア症の起因菌である *Listeria monocytogenes* (LM) は、食品を介してヒトに感染し、重症化すると高い致死率を示すとされる。県内のコンビニエンスストア向け RTE 食品における LM の汚染実態を把握するため、調査を行ったので報告する。

閉会のあいさつ 食品安全検査センター所長 牧岡正善

閉会 15:00（予定）